

AIDS UPDATE

No.26 2001.7.17

広島大学医学部附属病院

エイズ医療対策室

内線2941 (輸血部長室)

Internet: www.aids-chushi.or.jp

ホームページにも載りました！
よくわかるエイズ関連用語集Ver.3

厚労省研究班、HIV感染症の医療体制に関する研究班の成果として、用語集の改訂を行い、すでにみなさま方にお配りしました。これに伴い、私たちのHPの用語集も改訂しました。リンクをつけてありますのでオンラインでもご利用下さい。

<http://www.aids-chushi.or.jp/c5/menu.htm>



HIV感染妊婦と母子感染の現況

厚労省研究班の中で、『HIV母子感染予防の臨床的研究』(分担研究者：戸谷良造国立名古屋病院医長)の研究発表会が開催されます。東京は終わり、今後は添付ポスターのように、大阪、福岡で開催されます。

平成11年度の要約は次のサイトに掲載されています。

http://www.acc.go.jp/2000ekigaku/eki_014/014.htm

初診年度別にみる広大病院のHIV感染者数

広大病院のHIV感染者数は累計74人になりました。その初診年度別の推移を表で示します。1986年までの陽性者は本院での血液製剤治療による、いわゆる「薬害HIV」の患者さん達です。他院から転院してきた人たちがその後続きました。1997年にブロック拠点病院となり、セカンドオピニオンの来院も増えてきました。血液製剤以外の感染(性行為感染)者は1988年に始まり、最近はこちらが多数を占めています。

広大病院のHIV感染者の推移(初診年度別)

	~87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	計
血液製剤	17	3	6	8	0	1	0	0	0	0	0	3	2	2	1	43
血液以外	0	1	1	0	3	2	5	0	2	1	0	6	1	4	5	31

エイズクリニカルケア

N Engl J Medを発行しているマサチューセッツ医学会によるエイズのニュースレター誌です。<http://www.accnewsletter.org/> 日本語版のコピーを添付します。

<ご意見募集>

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部までお寄せ下さい。 [TAKATA, OE]
takata@aid-chushi.or.jp